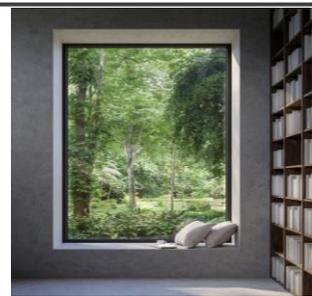


2024年8月28日  
株式会社SVPジャパン

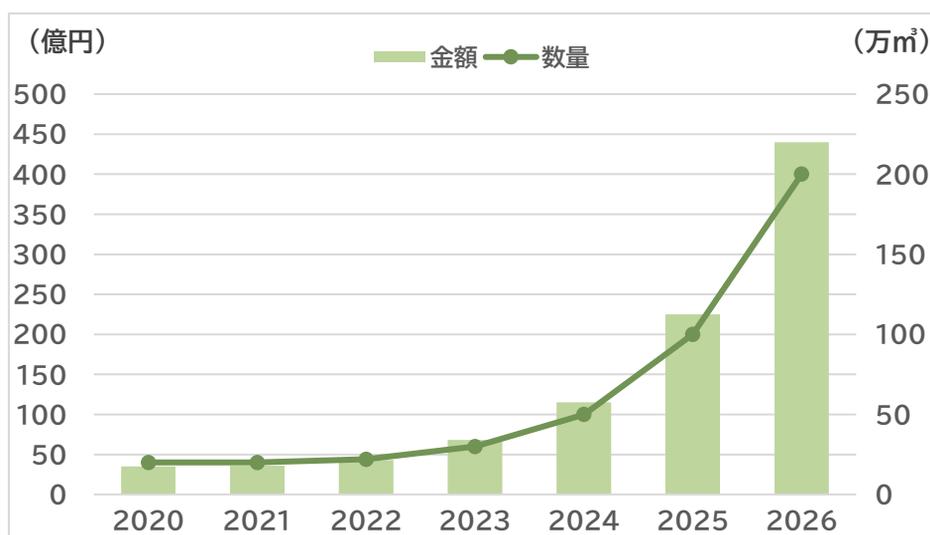
## SVP注目市場分析 「グリーンコンクリート」を公開

～CO2排出量を削減した環境配慮型コンクリート～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「グリーンコンクリート-国内市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

### ■ グリーンコンクリートの国内市場



2023年の時点で、コンクリートの製造に由来するCO2の排出量は年間約2,000万トンと推定されている。一方、日本全体のCO2の排出量は約10億トンで、コンクリートはその2%を占めるが、製造業・建設業に限定したCO2の排出量は約2.3億トンで、これに対する比率は9%近くなる。

そこで、2010年前後からゼネコンを中心に、CO2排出量を削減した「グリーンコンクリート」の開発が進んでいる。具体的には、セメントを高炉スラグなどによって部分的に代替してCO2排出量を25～80%程度削減した「低炭素型コンクリート」と、セメントの代替材料の使用に加え、CO2を吸収する材料を使用することで、実質的なCO2排出量をマイナスにした「カーボンネガティブコンクリート」が開発されている。市場規模は、国内において、建設現場での打設に使用された生コン、及びプレキャスト製品に使用された生コンの数量ベースで推計した。

## ■ グリーンコンクリートの市場概況

グリーンコンクリートが本格的に普及するには、生コンとしてのグリーンコンクリートの供給体制の整備が必要であり、グリーンコンクリートの生コンを製造して建設現場に納入する生コン工場、材料を供給するセメントメーカーを増加させることが重要となっている。ゼネコン各社が主導して供給体制の整備が進んでおり、今後、グリーンコンクリートの使用量が順調に増加していくと見込まれる。

現在のシェアは、スーパーゼネコンが大部分を占める。中でも、グリーンコンクリートの開発と採用に先行してきた企業として、鹿島建設、大林組、大成建設、竹中工務店のシェアが高いと推定される。国も開発を支援しており、2050年までにはコンクリート産業で主流を占める製品になっていると予測される。



## ■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

## ■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求



お問い合わせ



## ■ 次回のテーマ

9月のテーマは「マテリアルリサイクル・プラスチック」と「ケミカルリサイクル・プラスチック」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

### [会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン  
代表取締役 : 橋本 雅  
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F  
設立年月日 : 1974年7月1日  
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス  
URL : <https://www.svpjapan.com/>

### [本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課  
[info@svpjapan.com](mailto:info@svpjapan.com)